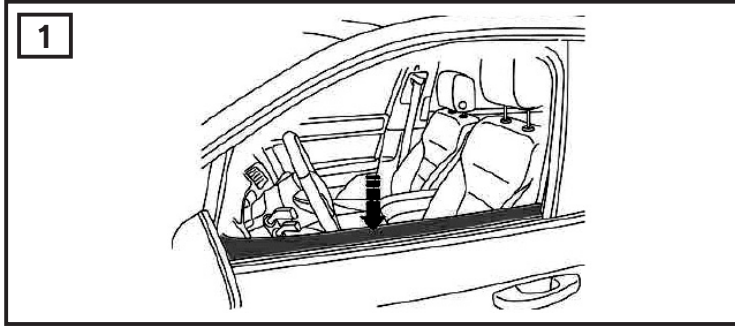


クリム エアー フロント ドア バイザー基本取り付け方法

重要: なお、製品によっては、車種別の取り付け用特殊金具や特殊金具取り付け用ツールなどが付属している場合があります。その際は、製品に添付のドイツ国(イラスト)版取り付け説明書をご参照の上、正しくお取り付け下さい。

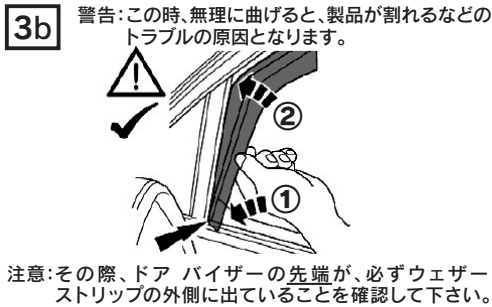
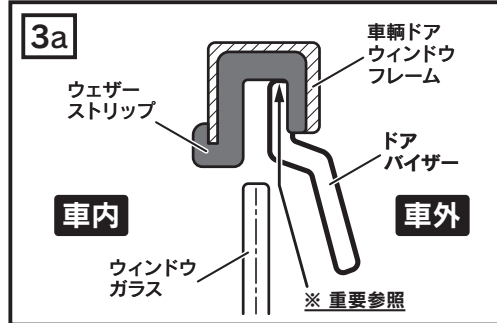


1 車輛の窓ガラスを完全に降ろします。

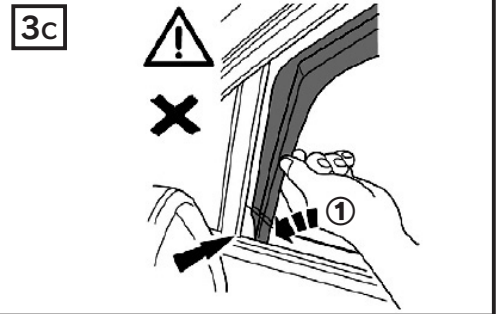


2 注意: もし、ドア バイザーに両面テープが貼り付けてある場合は、取り付け前に保護紙を剥がします。

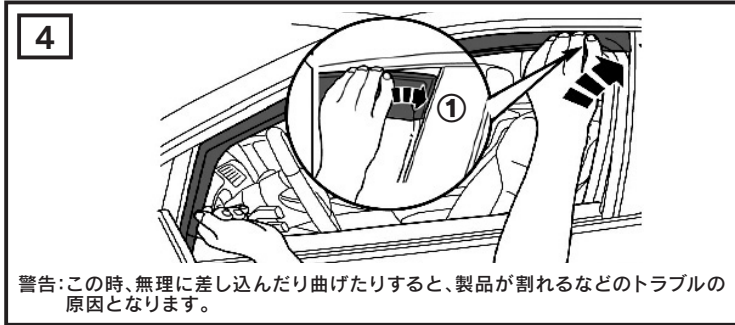
注意: 取り付け前に、商品形状と車輛の窓枠の形状が合っていることを、必ず確認して下さい。



3b 警告: この時、無理に曲げると、製品が割れるなどのトラブルの原因となります。



ドア バイザーの前方先端から、車輛窓のウィンドウ ガラスとウェザー ストリップとの間に差し込んで行きます。
重要: この時、ドア バイザーは可能な限りドア ウィンドウ フレーム内の奥深くまで、確実に差し込むこと。
警告: ウェザー ストリップにドア バイザー前方最先端が入り込んでいると、ドア バイザーが割れるなどトラブルの原因となります。



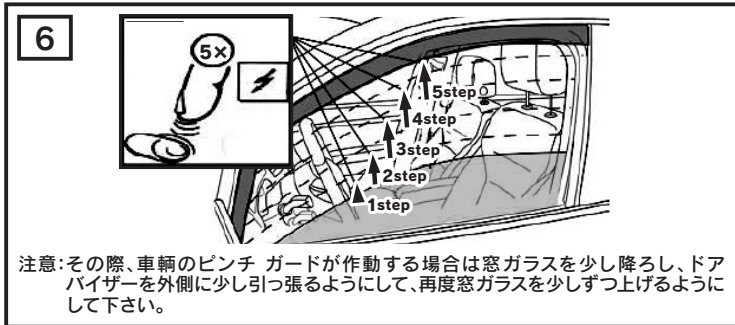
4 警告: この時、無理に差し込んだり曲げたりすると、製品が割れるなどのトラブルの原因となります。

ドア バイザー前方の差し込みが終わったら、ドア バイザー全体中央部を外側に少したわませながら、ドア バイザー後方先端をウェザー ストリップに差し込みます。



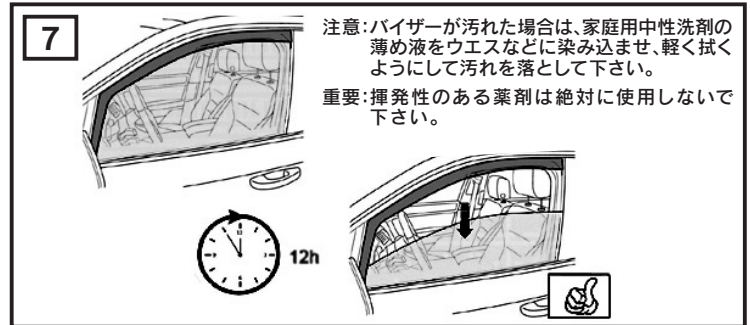
5 重要: この時、ドア バイザーは可能な限りドア ウィンドウ フレーム内の奥深くまで、確実に差し込むこと。差し込みが不十分な場合は、ウィンドウ開閉時にキシミ音が出るなどの原因となります。

ドア バイザー前方および後方の差し込みが終わったら、ドア バイザー全体を窓枠上部へ確実に差し込みます。



6 注意: その際、車輛のピンチ ガードが作動する場合は窓ガラスを少し降ろし、ドア バイザーを外側に少し引っ張るようにして、再度窓ガラスを少しずつ上げるようにして下さい。

ドア バイザーの取り付けが終わったら、窓ガラスを5回程に分けて少しずつ上げ、最終的に完全に窓ガラスを上げてしまいます。



7 注意: バイザーが汚れた場合は、家庭用中性洗剤の薄め液をウエスなどに染み込ませ、軽く拭くようにして汚れを落として下さい。

重要: 揮発性のある薬剤は絶対に使用しないで下さい。

取り付け完了後は、窓ガラスを完全に閉じたままで約12時間ほど放置し、必ずドア バイザーの形状を安定させて下さい。

170913

重要: 車輛オーナー様へ(車輛オーナー様以外がお取り付けされる場合は、以下のことを車輛オーナー様へ必ずご説明下さい。)

取り付けについて

車輛によっては、ドア ミラーを格納すると当ドア バイザーが干渉しドア ミラーの塗装がはがれたり、トラブルが発生する場合があります。お取り付けの際は、少しずつドア ミラーを格納し干渉の有無をお確かめの上、当バイザーの使用するかしないかをお決め下さい。干渉してもご使用される場合は、オート ドア ミラー格納機能を停止に設定したり、マニュアル操作でのドア ミラーの格納を止めるなどをお願いします。また、それらの車輛でご使用される場合は、車輛オーナー様のご責任をお願い致します。取り付けの際、製品をまちがった場所へ差し込んだり、無理に曲げたり曲げ過ぎると、製品が割れるなどのトラブルの原因となります。なお、それらの取り扱いミスで発生したトラブルにつきましては、弊社では一切責任を負い兼ねます。予めご了承下さい。

取り外しについて

当ドア バイザーは、3D設計の強い反発力を利用したはめ込み式で、その反発力によりしっかりと固定できるように製造されています。そのため、一旦取り付けの際は、少しずつドア ミラーを格納し干渉の有無をお確かめの上、当バイザーの使用するかしないかをお決め下さい。干渉してもご使用される場合は、オート ドア ミラー格納機能を停止に設定したり、マニュアル操作でのドア ミラーの格納を止めるなどをお願いします。また、それらの車輛でご使用される場合は、車輛オーナー様のご責任をお願い致します。取り付けの際、製品をまちがった場所へ差し込んだり、無理に曲げたり曲げ過ぎると、製品が割れるなどのトラブルの原因となります。なお、それらの取り扱いミスで発生したトラブルにつきましては、弊社では一切責任を負い兼ねます。予めご了承下さい。

